

調布大好き!

本号は9月議会



みみチャンネル

NO.34

元気派市民とみとこの会 調布市深大寺北町1-31-1 Tel&Fax 0424-88-4137
http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/ Eメール genkiha@ops.dti.ne.jp

2001.10.10 発行

元気派の主張が実現! 決算が9月議会に早まる。 市民の声が次年度予算に反映できるシステムに

大河みとこは市民が安心して暮らせる「調布」のまちづくりのために活動していきます



市民の声を予算に生かす審議
—これこそ財政改革の基本!

他の党・会派に先駆け、七年前から元気派市民の会が訴え続けてきた決算の早期化がようやく本年度から実現しました。今までは十月に市の予算編成が、後れて十二月に決算議会があつたため、その年の審議を次年度に生かせませんでした。九月に決算することと市民の要望を次年度予算に反映できる仕組みが整ったわけです。「最小の経費で最大の効果」をあげたかを審査し、その反省を次に生かすのが決算です。市営の施設も当然その対象となるはず。例えば、長野県の木島平山荘と熱海多賀荘の経費が合わせて年約二億円であるのに対し、市立学校の児童・生徒が必ず利用する八ヶ岳少年自然の家の運営費は年約四千万円に過ぎません。この施設は調布から近距離で人口スキー場もあり年間を通して

主なニュース

- 十二年度決算の認定に三会派が反対・・・・・・2
- 「教育について語ろう・第三弾」学習会報告・・・4・5
- 元気派の提案「ケーブルテレビで議会を」・・・6・7
- ちよっとみみよりな伝言板・・・・・・8

て利用率が高いのですが、築十八年で老朽化が懸念されながら大規模改修の予定はありません。財政状況が厳しいなか、利用の実態を把握し、「保養施設」の位置付けや運営方法を、公営で維持する必要性も含めて見直すべきと今議会で発言しました。

市の財布はひとつ。市民に情報を開示し問題提起をしながら、市民が本当に必要な事業にお金を使うべきです。財政改革の基本であるこの姿勢を、私は次年度に向けても貫いていきます。

調布市議会議員 大河みとこ



～元気派学習会報告～
教育について語ろう第3弾
「CAPおとな学習会」
詳しくは4～5ページをご覧ください



最近、玄米食を一日一食取り入れてます。胡麻をまぶして母のお手製の小梅といっしょに食し、幸せな気持ちを味わっています。噛むことの大事さを再認識中。(みとこ)

みとこの議会レポート

国領再開発事業への不明瞭な補助金や、課題の多いPFI事業を含んだ十二年度決算の認定に対し三会派が反対



平成十三年調布市議会
第三回定例会
九月十三日～二十八日(十六日間)

**平成十二年度一般会計決算認定
起立多数で可決**

元気派市民の会・反対

【反対の理由 その一】

国領再開発事業への納得のいかない補助金



財政を計画的に進める予算主義を否定しかねない大型補正予算を組み、しかも未執行という結末は、緊縮財政にあつて市民に大きな損失を与えました。そもそも国領南地区再開発事業への補助金は再開発組合への補てん金の意味合いが強く、しかも補助要綱が根拠で歳出できるような金額ではなく、いまだ監査に耐える正確な内訳も示されていません。同様に要綱に沿って補助金が執行された

北地区再開発事業についても、分権時代の今、本来なら立法機関である議会で条例の設置という手続きが必要だったはず。国領駅市街地再開発事業推進費について、市は市民への十分な説明責任も果たさず、多額な補正予算を組み、最終的には多額の繰り越し明許費と未執行による不用額を出しました。このことは最初の計画と見直しに無理があつたこと、加えて見直しの際にも誤りがあつたことを露呈するもので、市政運営への影響は大きくその責任は重いと考え反対しました。

【反対の理由 その二】

算出根拠が不明瞭な評価、検討時間の欠如など課題の多いPFI事業

調布初のPFI事業は、全国初の義務教育施設建設でのPFI事業計画です。長期契約に基づき民間と

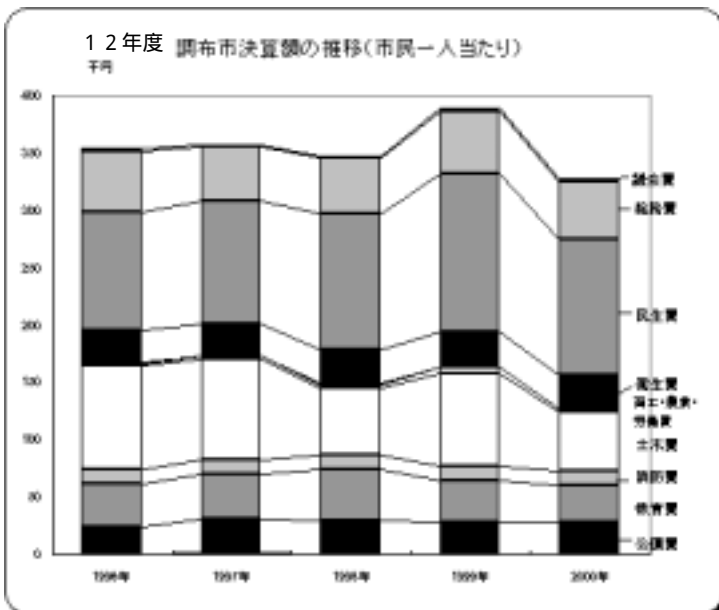
もに事業を推進するPFIには、長期にわたり多額の経費がかかるわけですから、検討時間を十分に確保するなど、もつと慎重になるべきでした。評価を客観的に監査する機関はなく、VFMの評価を算出する際に使われた従来方式での建築工事費や施設管理費の算出根拠も明らかではありません。議会では十分な情報公開も説明もなく審議を尽くす時間も得ないままに決定され、いまだ市民に満足な説明責任を果たせていないこのPFI事業費が含まれている決算の認定に反対しました。

初めに予算ありきではなく、まちづくりに関して有効なビジョンを示すことが重要です。補正予算については見込みの甘さをどう直すか、ここを改善しなければ決算を早めた意味がありません。今後は市民の評価を仰ぎ、毎年度事業を検証して、その事業の継続、拡充、廃止を決定すること、また市民が新たに必要としている事業は何なのかを常

平成十二年度の調布市決算

景気低迷の中、昨年に引き続き歳入不足は各種基金の取り崩し、利子割り交付金等の増収等で手だてした。

昨年に引き続き市税の徴収率が27市トップの努力は認めたい。財政難続く折、わかりやすい財政情報を市民に示し、市民が今必要としている事業を具体的に話し合うべき。



に職員自ら考え、事業効果を上げるよう全庁的に努力することを求めました。



みとこの一言

最近の同時多発テロから、何よりも平和の大切さとそれを市民に浸透させる行政努力の必要を感じます。不況の時代こそ、未来を託す子ども達が将来を見通す力をつけて平和な社会建設を可能にする事業に重点を置いて欲しいと思います。

文教委員会報告

文教委員会は市の教育委員会や生活文化部といった事業について担当しています。

平成十二年度一般会計決算の認定

元気派市民の会・反対

賛成多数で可決



生活文化関連事業が抱える課題のなかで今回指摘したことの一つに、多くの市民が利用する地域センター等の施設の経費見積りの甘さがあります。地域の活性化や生涯学習推進に欠かせない施設だけに、必要経費を確保して市民の需要に応えるよう

要望しました。

教育費は前年比6.7%の減少で全体の構成比は9.7%でした。これには前述したように十分な情報公開と説明責任が果たされないまま決定されたPFI事業による新設統合校建設事業が含まれていましたので、委員会所管の決算認定に反対しました。

教育は他の事業に優先して重点施策として取り組まなければならない分野です。学校施設は防災上からも生涯学習という視点からも地域の重要な拠点です。安全性の再確認はもちろんのこと、異常な暑さに対処する冷房機設置の必要性の検討など、教育環境への早急な取り組みが必要です。今後の重点的予算付けを要望しました。

議員提出議案(調布市介護保険条例の一部を改正する条例・産党提案)

反対多数で否決

元気派市民の会・反対

【元気派の意見】この条例改正案は介護保険料の減免を認める内容のものです。調布市の介護保険料は、市民参加で様々な過程を経て決定されました。



その点からも減免措置等の重要な問題は、アンケート調査や協議会の設置、市民が立ち上げた介護保険市民の会からの意見聴取など、様々な角度から検討し合意形成を図りながら決定すべきと考え反対しました。

アメリカ合衆国で発生した同時多発テロを糾弾する決議

満場一致で決議

九月十一日に起きた同時多発テロ事件に対し、いかなる理由からも許されないテロ行為を糾弾し、この行為者に厳しい責任を求め、同時に世界の平和と市民の安全を守るために、我が国政府・アメリカ及び関係諸国に冷静かつ理性的な対応を求める決議を、議会開会中の九月十七日に全会一致で行いました。

調布市議会議員及び調布市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

満場一致で可決

【元気派の意見】公職選挙法改正に伴う選挙運動の公費負担の条例改正です。この法律の施行で、公費以内で



選挙運動(例えばポスターの作成など)を行う人が少ない現状において、元気派市民の会のように政党に属さず選挙資金を持たない市民でも立候補がしやすくなります。選挙の公平性を促す経費は必要と考え賛成しました。

PFI 事業：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し行う新しい事業手法。英国など海外では既に実施中。

VFM (バリュー・フォー・マネー)：1979年英国での行財政改革で「小さな政府」が志向されたが、経費削減が公共サービスの質低下にならぬよう導入された「住民を顧客とみなし、最も価値ある税金の使い道、最も価値あるサービスを提供する」という考え方。

再開発：既成市街地において悪化した住環境や低下した都市機能再生のために、建築物、オープンスペース、公共施設などの一体的整備を行うこと。

長野で甥の結婚式に帰省する予定。久しぶりに「黒留め袖」を着ることに。大人になったなと自分の年を数えたりして。(みとこ)

暴力からは逃げよう！受けてしまってもそこから逃げる方法があるよ

“暴力”とは大切な“権利”が脅かされたり奪われたりすること。“自分の権利”を大切にすることで暴力の予防・回避ができ、万一暴力を受けたとき何もできないと思ってしまうこともあるけれど、必ず対処の方法があるということ、助けてくれるおとなが必ずいるということをお忘れなさい。

助けることができるおとなであるために...

何かあったら“誰かに話そう”と子ども達には教えます。では、その話しの受けとめ方は・・・。そんなことありっこない、あってはならないという潜在意識のために、体と心のSOSを見逃したり、不用意な言動でやっと口に出てきた言葉の芽を摘んでしまったり、さらに傷つけてしまったりするので。

*泣きたいから泣いている子どもに「泣かずに話さない」なんて言っていませんか。

*やっと話したのに「そんなことないでしょう」「なんで早く話さなかったの」なんて...

子どもが必要としているのは、思い込みを捨て、落ち着いて話を聴いてくれるおとな。



「大切な私」から「大切なあなた」「大切なみんな」へ

自尊感情(大切な私)は育てるもの。自分がどうでもよかったら他人なんかもっとどうでもよくなります。「大切な私」は「大切なあなた」につながります。そして「暴力」も「大切な私」も、子どもはおとなの背から学ぶのです。学習会を締めくくるとCAP 青い空の方の言葉です。

アンケートに寄せられた参加者の声から

- ・子ども全員に暴力から自分を守る手段、自分を大切にすることを学ぶ機会を与えることは、おとなの責任だと思いました。
- ・(前略)いじめ、誘拐などへの恐怖感が私には残った。自分、子どもを守るには何が必要か、少しの安心は得られても不安は残ります。
- ・(前略)子どもを受けとめられる大人になりたいと思います。「よく話してくれたね」をお忘れなように！オウム返し聞き方も、「ウン、ウン」も！
- ・子どもを守ると同時に、子どもの力を引き出すことをおとなが積極的に手助けすることが本当に必要だと思いました。その為におとながもっと学んでいくこともとても大切だと思いました。(後略)



- ・子どものワークショップを見学できるスタイルだと、より理解できるように思う。



このご意見に対するCAP 青い空からのコメント

子どものワークショップの全貌を見学したいという希望はよく出されます。CAPを実施し始めた頃(7年前)は、CAPを子どもが理解している様子をおとなの方にわかってもらうため、後方で見学をしてもらっていました。あるとき、親から見てその子どもの態度がよくなかったのでしょうか、突然‘ゴツン！’その場のムードまで変わってしまったことがありました。本来、アメリカではおとなの見学は限られた条件、人数です。日本でも現在はその原則に従いクラスごとのワークショップであれば担任の先生はワークに参加、その他少数の先生方から見学の希望があれば受けています。

CAP についてのお問い合わせは

CAPセンター・JAPAN(NPO法人、兵庫県西宮市) TEL 0798-57-4121

FAX 0798-57-4122

CAP 青い空 TEL / FAX 03 3962 4843

お知らせ & お詫び

現在「CAPおとな学習会」の中学生用プログラムについてのご要望が多く寄せられています。取材等、情報入手に努めて取り上げていくつもりですのでご期待ください。なお、今回予定していました「地域の既存組織とPTAについての特集」は、紙面の関係上、次回35号からシリーズで扱っていきます。変更をお詫びするとともに、教育・学校・子どもについて、引き続き皆様のご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

学習会の報告 **教育について語ろう第3弾「CAPおとな学習会」**

キャップ

8月25日(土) たづくり リハーサル室

子どものために具体的にできることは？そんな気持ちから、今回は『**子どもの人権教育プログラム、子どもが暴力から自分を守るプログラム**』として注目されているCAPについて学習会を行いました。



参加者みんなで「特別な呼び方」の練習

CAP (キャップ) とは

Child (子ども) Assault (暴力・暴行) Prevention (予防・防止) の頭文字からできたプログラムの名称です。1978年、米国で小学生の女の子が登校途中でレイプされ、地域全体がパニック状態に陥った事件をきっかけに、レイプ救援センターのスタッフを中心に親や教師、医師、心理療法、児童発達、演劇などの専門家が協力して開発したプログラムがもとになっています。日本には1985年に初めて紹介され、現在では「CAPセンター・JAPAN」を拠点に、全国各地で約100のグループがこのプログラムを実践しています。今回の学習会は、実績あるグループの1つ、「CAP青い空」にお願いしました。

プログラムの種類

就学前用、小学生用、中学・高校生用(日本のCAPオリジナル)の子ども向けプログラムがあり、いずれもロールプレー(役割劇)に参加して疑似体験を通して学ぶワークショップ形式で行われます。それに加え、保護者、教職員、地域の啓発活動として用意されたのが「CAPおとな学習会」です。どの子ども向けワークショップを学習に取り入れるかで、おとな学習会の内容が異なりますが、今回行ったものは小学生用プログラムの学習会です。

おとな学習会から

学習会は2部構成で、1部では友達からのいじめ・誘拐・身近な人からの性的暴力などの寸劇を含む子どもワークショップの概要を体験し、2部ではそれをもとにおとなにできること、おとなはどうあるべきかという核心に迫っていきます。2時間みっちりつまった内容をすべてご紹介できずに残念ですが、印象に残ったいくつかをお伝えします。



権利って何?・・・生きていくのにどうしても必要なものだよ

“**権利**”という難しい概念に対し、日常の生活のありふれた事柄に照らし合わせて子どもに理解を促し、安心する権利 自信を持つ権利 自由に生きる権利・・・子どもの大切な3つの権利へと導いていきますが、これにはおとなも納得。基本的人権はすべての人に当たり前にあるもの、義務を伴わないもの、ただし、唯一の条件は“**他者の権利**”を奪わないこと。自分の中の“**権利**”という言葉に血が通う瞬間です。

子どもと「権利」について話をするときの一例

自分(子ども)にはどんな権利があるかな?

遊ぶ権利がある! だが一日中ゲームやる。

別に、やらなくても生きていけるよ。

そうだね。遊ぶ権利があるね。でもTVゲームは1日中やっていないと生きていけないかな?

そうだね。ゲームは遊びの一部で、絶対にやらなきゃならないものではないよね。それにTVゲームをずっとやってたらどうなるかな?

目や姿勢が悪くなる。

それって自分を傷つけることだよ。そうしたらお母さんは心配になるし、お母さんの安心と自信の権利が奪われることでもあるよね。じゃあこれは本当の権利の使い方ではないよね。

「自由」の履き違えはおとなにもありがち。「自由に生きる権利」とは「選択の自由」を意味しているのです。
子どもと親は話し合いながら共通のルールをつくるのが大切です。

同時多発テロ事件で世界が揺れています。地球の未来を次世代へつないでいくように行動することが大人の責任です。(みとこ)

元気派ひろば



案 今回の決算で行った主な提

調布再発見！

深大寺、実篤記念館、東京スタジアム、調布の花火、調布飛行場など、調布市には観光資源となる著名な場所や風物詩が豊富にあります。しかし市内在住でも訪ねたことがない方も多く、何か魅力を訴える工夫が必要と思われる。その一案として、「文化会館たづくり」に物産、絵はがきなどの調布グッズを置いてはどうかと思います。そこには、姉妹都市木島平村を紹介するものを置くのも一考では。

都市農業対策

都市農業を守ることは重要な課題で、防災面からは避難地としても協定が結ばれています。食の安全や緑の保全等を考えると有機農業の推進を農業者の方にお願したいと思えます。そのためには隣接している住民の有機農法に対する理解 例えば

堆肥の臭いの問題などを欠かすことはできません。援農などが気軽に行われ、日頃から交流し理解し合うことができる環境も必要です。誰でも参加できる草むしりや、地場野菜を使った料理講習会などから始めてはどうでしょうか。

各学校にケーブルテレビを設置し活用を

現在、市内公立学校でケーブルテレビが受信できるのは二校のみ。インターネットの普及で加入者も増加しているケーブルテレビですが、地域や学校行事も放映されている他、災害時の重要な情報源でもあります。年一カ所程度の導入予定では、市全域での活用は当分望めません。元気派は、各学校への設置を早急に予算化し、活用をはかることを求めます。

「議会改革アピール」元気派は訴えます

開かれた議会へ、まず議会審議をケーブルテレビで放映を！

元気派市民の会は、ケーブルテレビ、FMラジオでの議会中継、市の

ホームページを活用した議会ホームページ開設など推進するよう平成9年から提案しています。市民生活を左右する行政サービスは、議会に提案され議論、決定されていきます。「百聞は一見に如かず」、傍聴に行かない人でも議会中継を見れば、選挙で選ばれた市民代表の考えがよくわかります。例えば「文化会館たづくり」一階ホールの大画面で議会中継があればいいと思いませんか。議会改革については徐々に審議されています。私自身も実現に向け努力し続けますが、市民の声が何よりも推進力となります。開かれた議会に向けて、皆様の声を届けてください。

環境施設帯整備検討協議会に参加を

武蔵境通り調布・保谷線三六m道路計画（御塔坂から調布北高校までの二・二km区間）は平成十七年度完成を目指し用地買収が進められています。道路計画に市民参加を訴えつつ、実際には十八mから三十六mへの計画変更も含め歯がゆい思いをしてきました。ここにきて初めて東

京都は環境施設帯への提案に市民参加を募り、八月五日から整備検討協議会が開催されています。計画決定された以上は、市民の声が入るどのような機会も否定してはいけなないと私も協議会へ参加しています。環境施設帯とは道幅三六mのうち車道四車線十六mを除いた両側の各十mのスペースのことで、歩道、植栽帯、副道、自転車道などのデザインがワークショップ形式で進められています。なお、この道路は今後整備される都道の基本になっていく予定です。協議会も残すところ後わずかですが、関心のある方は是非参加してください。ご意見ご提案は左記のFAXでも受け付けています。

開催予定日
平成13年
11/10(土)
12/15(土)
平成14年
2/3(日)
午後1時～4時

会場は神代植物公園植物会館会議室、参加申し込み先は東京都北多摩南部建設事務所工事第一課
電話 042-364-4651 内線455
FAX 042-369-3890

みとこの活動日誌



- 7月 2 市議会だより委員会
- 3 津金理氏叙勲を祝う会
- 8 調布市長野県人会
- 11 幹事長会
- 14 市川房枝政治参画セミナー
- 14-15 地方議員行財政自主研究会
(ごみ問題)
- 16 都市農政推進協議会総会
- 17 武蔵野女子大学にて講義
- 18 新ごみ処理施設に関する説明会
- 19 市川房枝記念会総合講座
(介護保険制度から見たもの)
- 25 ミニコンサート・おじさんのラン
プ(グリーンホビーにて)
- 27 北ノ台小学校盆踊り大会
- 28 国際会計学会中部学会(名古屋)
- 8月1-2 市川房枝記念会女性問題サマーセ
ミナー「民主主義の成熟を目指して」
- 2 環境保全審議会
- 3 教科書選定のための審議会
- 4 国際会計学会部会
- 5 環境施設帯整備検討協議会ワーク
ショップ(武蔵境通りについて)
- 8 ゆうあいミーティング
- 9 都市整備協議会
元気派ミーティング
- 23-24 自治体学会全国大会参加(函館)
- 25 元気派学習会、ふるさとまつり
- 26 国際会計学会部会
- 30 幹事長会
- 9月 1 総合防災訓練(東京スタジアム隣)
- 2 市民体育大会開会式
自治会行事参加
- 5 幹事長会、全員協議会
- 8-9 国際会計学会全国大会出席(国立
学術情報会館)
- 11 議会運営委員会
- 13-28 9月議会
- 14 環境施設帯整備検討協議会ワーク
ショップ(武蔵境通りについて)
- 15 敬老会
- 29 環境施設帯整備検討協議会ワーク
ショップ(武蔵境通りについて)
- 30 ユニホッケー市民大会出席
調布市婦人会館サークル展講演会

我が家の愛犬「シュン」も十歳になります。行きつけの獣医さんに「年取ったね」といわれましたが、好々爺? になりつつあります。(みとこ)

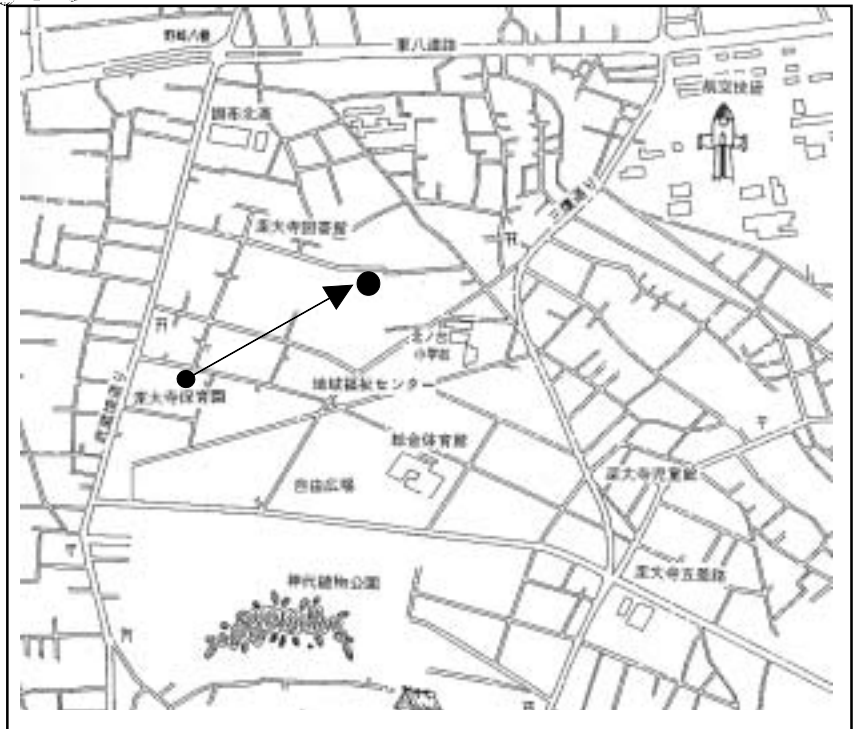
調布市立深大寺保育園建て替え計画と管理運営方式の変更について

深大寺保育園(昭和四十五年設置)の老朽化に伴い、平成十五年十月開園を目指した建て替え計画があります。現在の場所では立て替え中の仮園舎の設置が難しい点、時代に即した保育サービスの充実を図るにはより広いスペースが必要なことから、場所を変えて建て替える予定です。また、保育サービスの拡大と効率化のために公設民営方式が提案されていますが、父母会からは民間委託反対の要望書が提出されていて、現在、新園検討委員会において父母会

とともに協議している段階です。ちなみに三鷹市は民間企業に委託を決めています。厳しい財政状況下、財源を確保し、新たな市民ニーズに応えてどのように効率と内容の充実を図るのか、総合的な判断が要求されます。

候補地は深大寺北町の都営住宅跡地(都有地)で、区画整理事業計画に含まれています。地域の方が「深大寺北町花ひろば」と名付けて花いっぱい運動をしている市の土地や私有地にも隣接している広いスペースです。最近国領にできた家庭支援センターは駅前という利便性が売りですが、この候補地は子どもに必要な自然空間を提供できる魅力的な場所です。従来の保育園の概念にとどまらず、様々な可能性を

含んだ場所であると思えます。何より保育園は子どもにとつて家庭に代わる大事な保育の場ですから、計画は万事情重に進められなければなりません。私自身、情報収集に努め研究して判断していきたいと思っ



武蔵野女子大学で講義、「自治の現場からの報告」を行いました



教室で女子大生を前に「市民が主役のまちづくりをめざして」を語る。

「市民である未来の候補者のあなたに」というタイトルで、具体的な議員活動などを交えて話をしました。自分が住んでいる地域の議員を知らないという学生が殆どでしたが、図書館の利用時間ひとつとっても政治が関わっていることを伝えると、真剣なまなざしで質問してくれる学生もいて、次世代にいかに関心を持ってもらうかも大きな課題だと感じました。

市川房枝記念会政治参画セミナー合宿に参加しました

「民主主義の成熟をめざして」が本年度のテーマで、グループに分かれて政策研究しました。無所属地方議員との情報交換では、一人会派として活動する議会での悩みなども多く出されました。今後、行政が行う事業をチェックしたり、本来の立法機関として機能するような議員活動には、住民本位の政策研究機関が必要という課題が合宿後の大きな宿題として残りました。



埼玉県嵐山町独立行政法人国立女性教育会館にて千葉大学大森教授と

伝言板

ちよつとみみよりな

次の議会は十二月七日頃からの予定です。大河みとこは一般質問を行います。是非傍聴に行きましょう。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0424-81-7291)

近所の神代植物公園で、40周年記念企画として夜「バラとジャズコンサート」があります。毎年楽しめる企画がこれからも続いたらなあと思います。(みとこ)

元気派ミーティング(議会報告会)

11月13日(火) 午後7時~9時

深大寺地域福祉センター



待ってます!

国際公会計学会・市民にわかる財政ディスクロージャー研究部会研究報告会

11月17日(土) 午後1:30~4:30

武蔵野市公会堂 2階会議室(JR吉祥寺駅南口)

財政情報などに関する行政の広報のあり方について、市民800人に聞いたアンケート結果の報告があります。(大河みとこも報告します。) 資料代500円

編集後記

国際社会では個の尊重こそ要、大切にすべき日本の個とは?(ちえみ)

今回の私の仕事は皆さんへのエネルギー補給一回、他に忙しくしていた間にでき上がってました。みんなスゴイ。(ちはる)どこもかしこも「平和」なんて世の中が、いつになったら来るのかな?!(まろこ)

世界中の子どもの未来は大人の手の内にある。その責任、どう果たすか重い課題です。(みとこ)

連絡先: 元気派市民とみとこの会

〒182-0011 調布市深大寺北町

TEL&FAX 0424(88)4137

伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配っていただける方を募集しています。事務所までご連絡下さい。TEL0424-88-4137

Eメール genkiha@ops.dti.ne.jp

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。

みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
口座番号 00180-5-577951

加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみちゃん」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他